

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語 I B
科目基礎情報						
科目番号	0011		科目区分	一般 / 必履修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「Vision Quest English Expression I Standard」 (啓林館) , 「Vision Quest English Expression I Standard Workbook」 (啓林館)					
担当教員	土田 泰子,大森 理聡,福田 昇					
到達目標						
この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。 この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。 科目の到達目標評価の重み学習・教育到達目標との関連 ①コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を習得する。 40%(b3) ②基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が正確に行える。 40%(b3) ③既習文法を使用して、簡単な英作文ができる。 20%(b3)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を習得する。	コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を習得する。		コミュニケーションに必要な英文法の基礎事項を概ね習得する。		先に達していない	
基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が正確に行える。	基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が正確に行える。		基本的な英単語の意味の認識、綴りや発音が概ね正確に行える。		先に達していない	
既習文法を使用して、簡単な英作文ができる。	既習文法を使用して、簡単な英作文ができる。		既習文法を使用して、簡単な英作文が概ねできる。		先に達していない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この授業では、中学校で既習した基本的な文法項目を再学習し定着をはかる。また、少し高度な文法項目の導入も行い、学習した文法項目の更なる理解を深める。また、ライティング活動等を通してそれらの文法項目を使用し、英語の運用能力を養う。 ○関連する科目： 英語IIB (次年度履修)					
授業の進め方・方法	適宜、授業内容に沿った小テストを行う。					
注意点	外国語の習得には、日々の学習の積み重ねが大切です。予習・復習を習慣化していくこと。電子辞書を購入した場合は、家庭学習に使用し、授業では指定の英和辞典を使用すること。授業を欠席することは即学習の遅れにつながるので、欠席した場合は「欠席届」を提出するとともに、遅れを取り戻すための対策を自ら講じ、必ず実行すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction TOEIC-Bridgeテスト			
		2週	エンジョイ!ドリルで英文法		中学校英語の基礎を理解する	
		3週	エンジョイ!ドリルで英文法		中学校英語の基礎を理解する	
		4週	エンジョイ!ドリルで英文法		中学校英語の基礎を理解する	
		5週	Lesson 1		文の種類を理解する	
		6週	Lesson 1 とActivity		文の種類を理解する	
		7週	前期中間試験			
		8週	Lesson 2		文型と動詞の使い方を理解する	
	2ndQ	9週	Lesson 2 とActivity		文型と動詞の使い方を理解する	
		10週	Lesson 3		時制を理解する	
		11週	Lesson 3 とActivity		時制を理解する	
		12週	Lesson 4		完了形を理解する	
		13週	Lesson 4 とActivity		完了形を理解する	
		14週	総復習		これまでの内容を理解する	
		15週	試験解説と発展授業		試験範囲のの内容を理解する	
		16週				
後期	3rdQ	1週	Lesson 5		助動詞を理解する	
		2週	Lesson 5		助動詞を理解する	
		3週	Lesson 5 とActivity		助動詞を理解する	
		4週	Lesson 6		受動態を理解する	
		5週	Lesson 6		受動態を理解する	
		6週	Lesson 6 とActivity		受動態を理解する	
		7週	後期中間試験			
		8週	Lesson 7		不定詞を理解する	
	4thQ	9週	Lesson 7		不定詞を理解する	
		10週	Lesson 7 とActivity		不定詞を理解する	
		11週	Lesson 8		動名詞を理解する	
		12週	Lesson 8 とActivity		動名詞を理解する	
		13週	Lesson 9		分詞を理解する	
		14週	Lesson 9 とActivity		分詞を理解する	

		15週	試験解説と発展授業		試験範囲のの内容を理解する			
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3			
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3			
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3			
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3			
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3			
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3			
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3			
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2			
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2			
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3			
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2			
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2				
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2				
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2				
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2				
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2				
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2				
			毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2				
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2				
			毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	2				
			自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	2				
評価割合								
	試験（前期中間）	試験（前期期末）	試験（後期中間）	試験（学年末）	その他の試験	態度と課題		合計
総合評価割合	15	15	15	15	20	20	0	100
基礎的能力	15	15	15	15	20	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0